

臨床研究「女性アスリートのエネルギー不足の改善を目的とした実態調査」について

1) 目的

スポーツによる相対的なエネルギー不足は、様々な症状を引き起こすことが報告されており、利用可能なエネルギー不足 (Low Energy Availability: LEA)、運動性無月経、骨粗鬆症は女性アスリートの三主徴 (Female Athlete Triad: FAT) として知られています。本研究では、女性アスリートを対象に LEA の実態を把握し、栄養指導による LEA の改善度合いや FAT の改善の有無を主に調べます。

2) 研究対象者

当院を受診している女性アスリート以外に、LEA の存在や FAT が生じている可能性があるなどの条件を満たす方はボランティアとしての参加も可能です。18 歳以上 30 歳未満のかが対象となります。

3) 研究期間

2027 年 03 月 31 日まで (登録は 2025 年 08 月 31 日まで)

4) 研究方法

参加者には3~6カ月毎に栄養指導、婦人科関連問診、活動量、ホルモン値測定 (採血)、握力測定などを行います。日常の食事内容やコンディション、月経周期などを日々記録して頂きます。面談は主にWebで行い、約1年間をかけて経過をみていきます。また、本研究は、他機関と協力して研究を行います。

5) 取り扱う試料・情報

年齢、身長、体重、体組成、既往歴、家族歴、内服歴、競技種目、月経に関する項目 (初経年齢、月経周期など)、採血 (ホルモン測定値)、食事記録 (日誌と画像)、食物摂取調査票 (FFQ) 結果、活動量 (IPAQ)、体力パフォーマンス指標 (握力値、記録会の競技成績など)、主観的コンディション
上記項目に加え、当院受診者は診療で得られた情報 (診察所見、採血、骨塩量など) を使用します。

6) 研究体制

研究主機関：筑波大学医学医療系 産科婦人科学
代表者・責任者：佐藤豊実 分担者：中尾砂理
(連絡先) 筑波大学医学医療系 産科婦人科学教室
TEL : 029-853-3073 (平日 9:00~16:30)
研究分担機関：流通経済大学 膳法亜沙子
国立スポーツ科学センター 妙圓園 香苗